

編修趣意書

(日本産業規格A列4番)

(教育基本法との対照表)

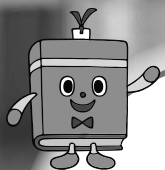
受理番号	学校	教科	種目	学年
104-218	小学校	生活	生活	1・2
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東書	生活 117 生活 118	どきどき わくわく 新編 あたらしい せいかつ 上 あしたへ ジャンプ 新編 新しい 生活 下		

1 編修の基本方針

小さな気付きを大きな未来に

「これは何かな。」「もっと楽しくできそう。」「いっしょにやってみようよ!」生活科の学習は、身近な人や自然、社会など、身の回りのものすべてが学習対象となります。児童はそれらと関わりながら、一人一人の思いや願いの実現に向け、具体的な活動や体験を通して小さな気付きや疑問を追求していきます。2年間の生活科の学習では、そのような豊かな学びを繰り返し、生涯にわたる学びの基盤を身に付けていきます。

「新しい 生活」編集委員会は、大きな未来をつくる子供たち一人一人に寄り添い、その成長に貢献したいと考えます。



特色

1

児童の
生き生きとした
活動を支える
教科書

→ p.2

特色

2

生活科の学びを
見える化した
教科書

→ p.3

特色

3

「令和の
日本型教育」を
実現する
教科書

→ p.4



QRコンテンツ
TOP



1

児童の生き生きとした活動を支える教科書

幼児期の育ちをつなぎながら、児童の思いや願いを生かし、主体的な学びを支えるための紙面構成、カリキュラムを例示しています。



1

ダイナミックな活動写真

児童の「やってみたい！」を喚起する、質の高い写真を掲載しました。

NEW

見開き化で実現したダイナミックな扉ページ

扉ページの小写真

これまでの経験や既存の知識を学習内容と結び付けることで、児童の思いや願いが醸成され、スムーズな導入が図れるよう、単元に関連する写真と児童のつぶやき例を掲載しました。



下 p.13

上 p.38-39

※さまざまな活動で豊かな情操を養えるよう配慮しています。(第1号)

2

スタートカリキュラム

1 スタートカリキュラムを生活科の学習活動中心に編成し、すべての学校で適切に実施できるようにしました。



上 p.4-9

上巻巻頭の「どきどき わくわく 1ねんせい」では、スタートカリキュラムで行われる活動を具体的に例示しました。「きょうしつ」「ともだち」「がっこう」と、関わる人と場所を徐々に広げることで、児童が安心して学習生活を送れるようになる構成にしました。

上 p.4

2 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を具体化しました。

スタートカリキュラムでは、幼児期に育まれた資質・能力を小学校でも発揮し、さらに伸ばしていくための活動が行われます。幼稚園教育要領等で定義された「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が、入学当初の学習で発揮されている主な例を、イラストと保護者向けのメッセージで示しました。



保護者向けのメッセージ

※個人の育ちや価値を生かし、自立の基礎を養える構成にしています。(第2号)

2

生活科の学びを見える化した教科書



学習指導要領で示された育成を目指す**資質・能力**を、教科書紙面で**分かりやすく具体化**しています。また、よりよい生活科の授業づくりに資するよう、**評価の視点を明示**しています。

資質・能力が見える・分かる

1 生活科で育成すべき資質・能力が見えるよう、紙面を構造化しました。

学習指導要領で育成が目指されている**資質・能力**の三つの柱(「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」)を、吹き出しや表現作品で具体化しました。また、その小単元で主に育成する資質・能力を本文で明示し、**指導と評価の一体化**を目指しやすいように配慮しました。

NEW

本文 活動のめあて (児童の思いや願い)(教師の発問例)

+

主な評価規準を示すマーク

- 知識・技能
- 思考・判断・表現
- 主体的に学習に取り組む態度

学習活動を明記

「やくそく」「ずかん」活動を通して身に付ける「生活上必要な習慣や技能」を例示

上 p.18-19

がっこうにいるひととなかよくなる

どんなひとにあえるかな。なにをきこうかな。

学びのプロセス

児童が生活科の「見方・考え方」を生かしている姿を、学習過程に沿って具体的に例示

思考力、判断力、表現力等の基礎

知識及び技能の基礎

学びに向かう力、人間性等

2 生活科の「主体的・対話的で深い学び」を具体化しました。

生活科における「**主体的・対話的で深い学び**」の姿を、「学びをふかめる」のコーナーで例示しました。気付きの質の高まりの例示のみならず、深い学びを促進するための学習環境なども具体的に例示しました。

下 p.14-15

野さいのようすをつたえ合おう

どのようにして大きくなったのかな。

学習環境を例示

友達と交流し、伝え合う場をイラストで具体化

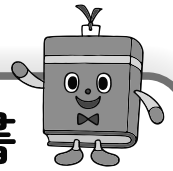
「学びをふかめる」

気付きを関連付けたり、視点を変えて捉え直したりする「気付きの質の高まり」の具体例を学習プロセスで例示

※自然を大切にできる態度を養うことができるように配慮しています。(第4号)

3

「令和の日本型教育」を実現する教科書



生活科の学習におけるICT活用を具体化するとともに、QRコンテンツ*などの資料を充実させ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」が効果的に実現できるようにしています。

*QRコンテンツ 二次元コードからリンクするデジタルコンテンツ

1

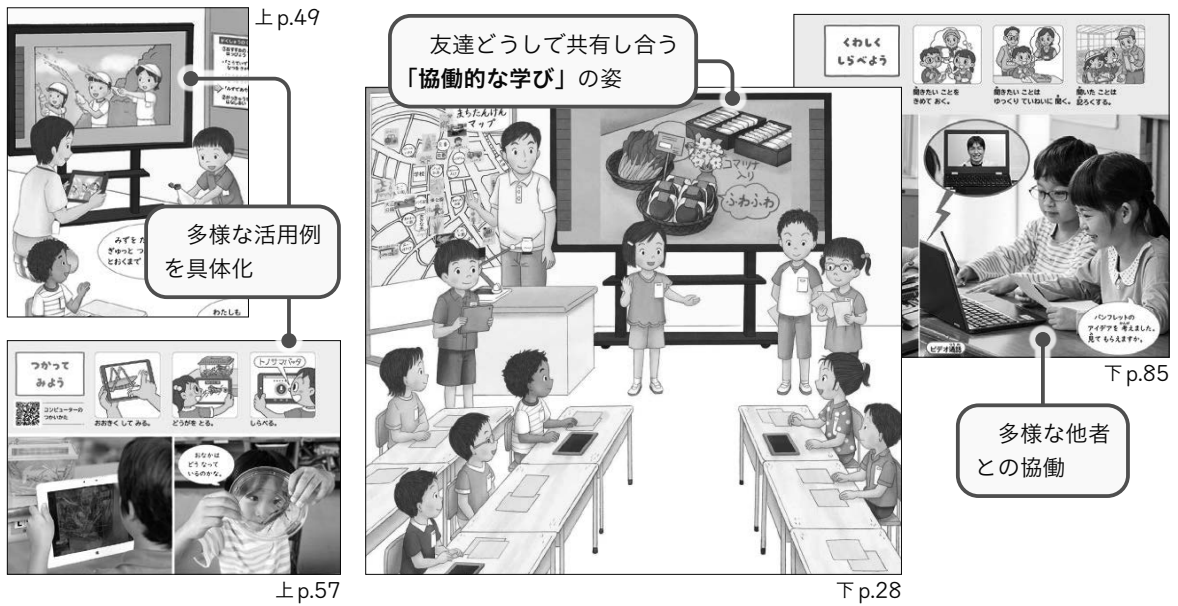
GIGAスクール構想に対応し、ICT機器の活用場面を具体化しました。

児童の学びを可視化し、気づきの質の高まりを促せるようなICT機器の活用場面を掲載しました。

アナログとデジタル、それぞれのよさを生かすことができるよう、学習内容や対象、児童の発達の段階に応じて、適切で具体的な例を示しました。

ICT活用を具体化

NEW



*キャリア教育、郷土や地域に関する教育の充実に配慮しています。(第3号、第5号)

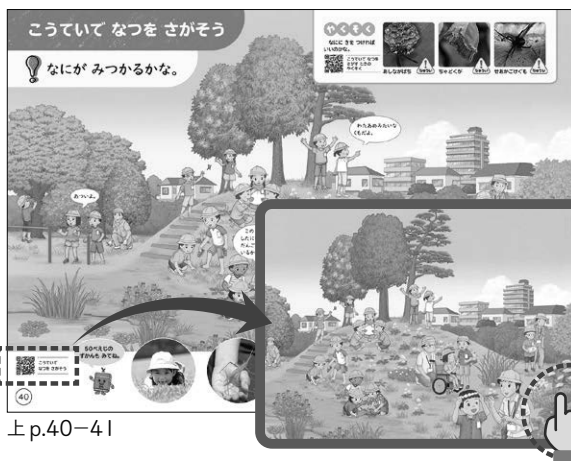
2

児童一人一人の「もっと知りたい！」に応えるQRコンテンツを用意しました。

650点を超える豊富なQRコンテンツが一人一人の興味・関心を刺激し学習意欲を高め、「個別最適な学び」の実現を可能にします。



こういてなつをさがそう デジタル いきものずかん



デジタル いきものずかん
身近な生き物を200種以上掲載！
児童の知的好奇心を刺激します。



そのほか、「きせつのくらし図かん」「まちのあんぜんとくふう」等、充実したコンテンツを用意。

二次元コードを読み取ると、イラストの動植物を調べることができます。



豊富なQRコンテンツ

2 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
全体	●生活科で育成すべき資質・能力を、児童の発達に配慮しながら適切に育成できるよう、上下巻の学習活動を構成し、主体的・対話的で深い学びを通して、幅広い知識と教養を身に付けることができるようにしました。(第1号)	全体
	●身近な自然に親しむ活動や自分のよさや可能性に気付く活動を掲載したり、挨拶や言葉遣いなど生活上必要な習慣に関する資料を掲載したりするなど、生活科の特質に応じた、 道徳教育の充実 に配慮しました。(第1号)	上10～11、40～41、116～117 下98～99
	●自然災害、交通災害、人的災害の三つの観点から、安全に関する学習活動や資料を豊富に掲載し、 防災を含む安全に関する教育の充実 に配慮しました。(第1号)	上22～25、115 下4～5、104
上巻	●家庭における自分の生活を見つめ直し、規則正しく健康に気を付けて生活できるようにする学習活動を掲載するなど、 心身の健康の保持増進に関する教育の充実 に配慮しました。(第1号)	上78～85
	●生き物に親しみ、大切にできる態度を育成するため、児童の発達の段階に合わせ、身近な動植物の飼育・栽培活動を取り上げるなど、 生命の尊重に関する教育 に配慮しました。(第4号)	上26～37、52～61
	●身近な自然を利用して、思い切り遊んだり、遊びに使う物をつくったりする学習活動を豊富に掲載するなど、 環境に関する教育の充実 に配慮しました。(第4号)	上38～51、62～77、120
下巻	●身近な地域で働いたり、生活したりしている人々と繰り返し関わることを通して、それらの人々と自分の生活との関わりを理解するなど、 郷土や地域に関する教育の充実 に配慮しました。(第5号)	下20～29
	●身近な地域で働いている人々と繰り返し関わることを通して、あこがれの気持ちや親しみ、愛着がもてるようになる活動を掲載するなど、 キャリア教育の充実 に配慮しました。(第2号、第3号)	下68～89
	●昔から伝わる遊びや、地域の行事、節気、節句の象徴などを豊富に掲載するなど、 日本の伝統や文化に関する教育の充実 に配慮しました。(第5号)	下6～7、42～43

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

1 ユニバーサルデザイン

→ 学習指導要領との対照表 p.4 観点別特色一覧 19

- 色覚の多様性に配慮し、カラーユニバーサルデザインの観点から、配色及びデザインについて、全ページにわたって専門家による検証を行っています。

2 人権上の配慮

→ 学習指導要領との対照表 p.4 観点別特色一覧 20

- 外国にルーツのある児童や、障害のある児童を登場させるなど、多様な他者との協働に関する教育(インクルーシブ教育)に配慮しています。

3 SDGsへの取り組み

→ 学習指導要領との対照表 p.4 観点別特色一覧 21

- 繰り返し大切に使う、節電・節水、3Rなど、持続可能な社会の担い手を育むための資料を掲載しています。

4 感染症対策

→ 学習指導要領との対照表 p.4 観点別特色一覧 24

- 教科書冒頭に、感染症の予防に関する解説文・QRコンテンツを掲載しています。(上下 目次)

5 学習者用デジタル教科書を発行

- 紙の教科書と同一内容で併用・代用できる学習者用デジタル教科書の発行を予定。拡大機能、背景色の変更など、一人一人の特性に応じた学習が進められるように工夫しています。また、QRコンテンツの閲覧がタッチ操作でできます。

編修趣意書

(日本産業規格A列4番)

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-218	小学校	生活	生活	1・2
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東書	生活 117 118	どきどき わくわく 新編 あたらしい せいかつ 上 あしたへ ジャンプ 新編 新しい 生活 下		

1 編修上特に意を用いた点や特色

特色1 生活科の目標と評価を一体化



各小単元における主な評価規準を明確に示すことで、先生方の指導に役立ち、児童の学習意欲を高められるようにしました。また、三つの柱を偏りなく育成できるよう、単元内でバランスのとれた評価計画としました。

マークと本文で小単元の評価規準を例示



上 p.44-45



教師用指導書(朱書編)
教師用指導書では目標、評価規準、具現化した児童の姿をセットで示すことで、目標と評価を「見える化」しました。

※指導書紙面はサンプルです。

特色2 振り返り・表現活動の充実



体験と表現の往還により「気づきの質」が高められるよう、振り返り・表現活動を充実させました。児童キャラクターの姿や多様な表現方法により、児童や先生方が具体的な活動イメージをつかめるようにしました。学習内容や発達の段階に合わせてICT機器を適宜活用し、2年間で徐々に活動の質が高まるよう配慮しました。

1年生前半 上p.49

具体物を用いた表現の例

2年生前半 下p.28

ICT機器を活用した表現の例

2年生後半 下p.86-87

伝えたい相手や内容によって、自ら手法を選び出して表現している例

特色3 知的好奇心を刺激する造本の工夫

植物の育ちへの興味を喚起し、成長や変化への気付きを自覚できるよう、段々と紙面が広がる構成にしました。

造本の工夫が、個別の気付きから関連付けられた気付きへと、気付きの質の高まりを促します。

パノラマページ

たね、芽、つぼみ、花と、植物の成長の様子がひとめで分かるよう、用紙の幅を変えて表現しました。

上p.28、30、32



特色4 厳選・精選された質の高い資料

思いや願いの実現に向けて児童が活動の幅を広げられるよう、活動に即した資料を掲載しています。

1 上下巻末「かつどうべんりてちょう」

活動に即して身に付ける習慣や技能、学びなどをまとめた資料を掲載しました。活動に応じて参照することで、豊かな学びにつながります。

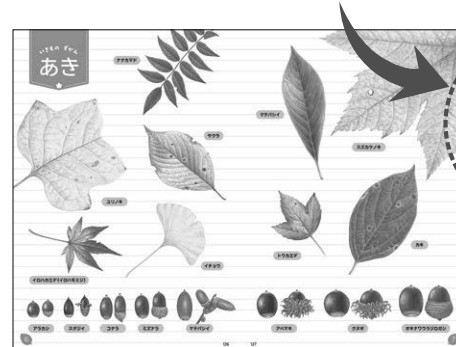


下p.114-115

「見付ける、比べる、たとえる、ためす、見通す、工夫する」などの多様な学習活動の例を、児童の具体的な姿で例示しました。3年生以降の学習にも生かすことができます。

2 上巻末「ほんとうのおおきさ いきものずかん」

紙面で見るとよさを生かした図鑑を用意しました。その他の生き物は「デジタル いきものずかん」を新設し、児童の興味・関心に応じて、200種類以上の生き物について調べることができるようにしました。紙面への掲載内容を厳選することで、ページ数を精選し、児童の負担軽減に取り組みました。



上p.126-127

上巻は約10%の軽量化を実現

特色5 2年間の学びを構造化

スタートカリキュラムの活動から、教科等の学びに円滑に接続



上p.12

上巻前半は幼児期の学びを生かした活動を展開



上p.26

下巻は上巻の学びをつなぎ、より探究的に学べる構成に



下p.8

生活科の学びを生かし、3年生以降の学習に意欲的に向かえるように構成された「つながるひろがる」



下p.102

中学年以降の理科や社会科、総合等につながるよう、徐々に活動や学びの質が高まる構成に



下p.14

3年生の学習へ

観点別特色一覧

1	教育基本法	●教育基本法第2条各号に掲げられた「教育の目標」の達成に資するよう、生活科の目標及び内容に照らして、学習活動や学習材が適切に選定、配列されている。(全体)
2	学校教育法	●学校教育法第30条2項に掲げられた目標の達成に資するよう、生活科で育成すべき「資質・能力」の三つの柱が、児童の姿や吹き出し、表現作品などに具体化され、もれなく、適切に配列されている。(全体)
3	生活科の目標の達成	●対象と十分に関わり合う時間を確保できるよう、身近で取り組みやすい学習活動や学習材が、重点的に取り上げられている。(全体)
4	資質・能力の育成	●各小単元の「本文」は、その見開きの学習で主に身に付けるべき資質・能力を意識した表現となっている。また、本文の前には、観点別評価規準を意識したマーク(!知識・技能、?思考・判断・表現、♡主体的に学習に取り組む態度)が付されている。(全体) ●学習指導要領の9つの内容ごとに明示された資質・能力が、本文だけでなく、児童の挿絵や写真、吹き出し、表現作品などで具体化し、掲載されている。(上18-19、指導書等) ●「やくそく」や「かつどうべんりてちょう」など、学習活動に即して身に付ける生活上必要な習慣や技能をまとめたページが設けられている。(上17、113-120、下5、103-120等)
5	身近な生活に関わる 見方・考え方	●身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、よりよい生活に向けて思いや願いを実現しようとするという、「身近な生活に関わる見方・考え方」を生かして活動している児童の姿が、学習活動ページの下段に記された学びのプロセスなどに具体的に例示されている。(上18-19、下12-13、26-27、36-37、48-49、62-63等)
6	主体的・対話的で 深い学びの実現	●生活科における「主体的・対話的で深い学び」が実現されている場面を、「学びをふかめる」のコーナーで具体化している。「身近な生活に関わる見方・考え方」を生かしながら、児童が表現・交流活動を行い、気づきを関連付けて、より質の高いものとする姿・過程が例示されている。(下14-15、50-51等) ●単元や年間を通して、「主体的・対話的で深い学び」を実現している姿が、上下巻を通じて成長する挿絵の登場人物で具体的に示されている。(全体)
7	表現・交流活動	●上巻では、対象と直接関わる体験活動と、気付いたことを表現・交流する表現活動を一体的に扱うとともに、季節のまとまりごとに、児童の発達に沿った振り返り・表現活動が例示されている。(上48-49、70-71、96-97) ●下巻では、体験活動と表現活動が交互に繰り返され、気づきを自覚したり、関連付けたり、視点を変えて捉え直したりすることで気づきの質を高め、「深い学び」を実現する学習活動が例示されている。(下14-15、28-29、74-75、82-83、98-99等)
8	気づきの質を 高める学習活動	●下巻巻末の「かつどうべんりてちょう」に、「見付ける」「比べる」「たとえる」「試す」「見通す」「工夫する」など、気づきを関連付け、質的に高めるための学習活動をまとめた資料が掲載されている。(下114-117)
9	非認知能力の育成	●「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を挿絵と文言で表現し、幼児期の教育で培われた育ちや学びを指導に生かせるようにするとともに、本文内でも、協調性、意欲、粘り強さ、自己肯定感などの非認知能力が高まるよう配慮されている。(上1-13等)
10	問題発見・ 解決能力の育成	●すべての単元が、児童が試行錯誤しながら思いや願いを実現していく学習活動で構成され、楽しみながら問題発見・解決能力が育成されるように配慮されている。(全体)
11	言語能力の育成	●体験したことから必要な事柄を選び、順序を考えながら、分かりやすく表現する等の活動において、国語科との関連を適切に図れるような資料が掲載されている。(下15、29等) ●児童と教員が会話する際の言葉遣いを敬体に統一するなど、言語能力の育成に配慮されている。(下86等)
12	幼児期の 教育との接続	●上巻巻頭に、生活科を中心としたスタートカリキュラムを具体化した小判ページ「どきどき わくわく ねんせい」を掲載するなど、幼児期の教育との接続に配慮されている。(上1-13) ●「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が、小学校入学直後の児童の姿を表した挿絵と、保護者向けの解説で具体的に提示されており、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた指導への配慮がなされている。(上1-9) ●入学当初の「スタートカリキュラム」が、生活科を中心に「合科的・関連的な指導」を行う「カリキュラム・マネジメント」のひとつとして、具体的に提示されている。(上1-13)
13	中学年以降の 学習との接続	●生活科で育成された資質・能力が、中学年以降の学びの基盤となることがイメージできる「つながるひろがる」が設けられている。(下102) ●生活科の学習で身に付く習慣や技能、学び方などが、各巻巻末の「かつどうべんりてちょう」に掲載されており、中学年以降の学びの基盤として活用できるように工夫されている。(上113-120、下103-120)
14	家庭・ 地域との連携・ コミュニティ・ スクール	●保護者にスタートカリキュラムの趣旨を伝えたり、動くおもちゃの材料を集める際の注意を伝えたりするメッセージを掲載し、学校教育の理念を家庭や地域と共有できるように配慮されている。(上1、下55等) ●地域で働いている人々や生活している人々との関わりを繰り返し、憧れをもつ学習活動が設けられている。 ●昔から伝わる伝承遊びや、草花遊び、伝統行事、節気や節句の行事などが豊富に掲載されている。 ●地域の人々と関わって見つけた「まちのよさ」の発信など、地域への愛着を深める学習活動が設けられている。(下88-89等)

15	他教科等との 合科的・関連的な 指導	<ul style="list-style-type: none"> ●他教科で身に付けた資質・能力を、生活科の学習で活かすためのヒントが掲載され、他教科等との合科的・関連的な指導に役立つよう工夫されている。(下15、29、51等) ●国語科や音楽科、図画工作科との関連を図った表現活動例や製作活動例が豊富に掲載されている。(上20、33、37、69、72-73、94、111、下46-48、87、98-99等) ●身近な自然や地域と関わる学習を通して、理科や社会科などの見方・考え方につながっていく姿が、挿絵や吹き出しで掲載されている。(下28-29、36-37、50-51、64-65等) ●具体的な活動や体験を通しながら学習が進む生活科の特質に応じて、道徳教育の指導が適切に行えるよう、道徳科と関連的に指導することができる学習活動や資料が充実している。(下86-87、100-101等)
16	協働的な学び	<ul style="list-style-type: none"> ●活動や体験を通して得た気づきを友達どうして伝え合う姿や、多様な他者と関わる学習活動例が、写真や挿絵などで具体的に例示されている。(上21、下72-73等)
17	個別最適な学び	<ul style="list-style-type: none"> ●学習の流れを示した掲示物が挿絵の中に描かれているなど、「授業のユニバーサルデザイン」に配慮されている。(上49、下74等) ●学習活動に即して活用する「ずかん」や、習慣や技能、学び方をまとめた「かつどうべんりてちょう」、「ほんとうのおおきさ いきものずかん」や「デジタル いきものずかん」など、児童の興味・関心に即して活用できる資料が用意されている。(上50-51、113-120、121-128等)
18	特別な支援を 必要とする 児童への指導	<ul style="list-style-type: none"> ●すべての児童が落ち着いて学習に取り組めるよう、紙面は落ち着いた淡い色調で統一されている。 ●児童向けのすべての文章は、文節で分かち書きされており、すべての児童の読みやすさに配慮されている。 ●黒板の端に、その時間の学習の流れを示したボードが掲示されているなど、授業のユニバーサルデザインに配慮した指導方法の工夫が随所に例示されている。(上52、下74等) ●拡大教科書、学習者用デジタル教科書が発行予定となっており、多様な児童の学習に配慮されている。 ●特別支援教育の研究者に専門の見地からの校閲を受け、多くの児童にとって読みやすく使いやすい教科書となるよう配慮されている。
19	ユニバーサル デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ●書き方の方向や点、はらいの形状を保ちながらも、太さの強弱を抑えた、教科書・教材専用のユニバーサルデザインフォントが使用されており、すべての児童の読みやすさに配慮されている。 ●色覚の多様性に配慮し、カラーユニバーサルデザインの観点から、配色およびデザインについて、全ページにわたって専門家による検証が行われている。 ●小単元名、本文、手洗いマーク、やくそくなどを同じ位置に配するなど、特別な支援が必要な児童も含め、すべての児童が分かりやすいよう、レイアウトが工夫されている。 ●多くの児童の読みやすさに配慮し、すべての漢字にふりがなが付され、文節で改行されている。
20	人権・福祉への 配慮	<ul style="list-style-type: none"> ●写真や挿絵で登場する児童や地域の人、家の人の数や役割などに、性別による偏りなどないように配慮されている。(全体) ●外国にルーツのある児童や、障害のある児童が登場するなど、多様な他者との協働に関する教育(インクルーシブ教育)に配慮されている。(上38-39、62-63等)
21	SDGsへの 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●幼児や高齢者、障害のある人、外国の人、異学年児童など、多様な他者と一緒に行う活動が随所に掲載されている。 ●繰り返し大切に使う、節電・節水、3Rなど、持続可能な社会の担い手を育むための資料が掲載されている。 ●身近な自然と繰り返し関わったり、動植物を継続的に飼育・栽培したりする学習活動が豊富に設けられている。
22	教員支援・ 指導力向上	<ul style="list-style-type: none"> ●動くおもちゃのつくり方や、飼育・栽培方法の資料など、準備に時間のかかる資料を豊富に掲載することで、教員が児童と直接向き合う時間を増やすことができるように配慮されている。(下54-55等) ●発問例や板書例、環境構成を掲載するなど、教員の指導力向上に配慮されている。(下36、86等) ●指導と評価の一体化を目指し、学習活動を示した「小単元名」と、資質・能力を示した「本文」、評価規準を示した「本文のマーク」や「吹き出し」が各小単元に掲載されている。
23	GIGAスクール構想・ 情報教育	<ul style="list-style-type: none"> ●活動や体験の中で、ICT機器を使って記録や観察をしたり、情報を収集・整理・分析して交流したり、撮り出した画像を利用して発表したりするなど、生活科におけるICT機器の有効な活用例が随所に掲載されている。 ●計650点以上の「QRコンテンツ(二次元コードからリンクするデジタルコンテンツ)」が用意されており、令和の日本型教育に示された、個別最適な学びに対応している。 ●ビデオ通話の場面を掲載するなど、遠隔教育の推進にも配慮されている。(下85等) ●情報教育の研究者や実践者に専門の見地からの指導や校閲を受けるなど、コンピューターを活用して、教科の学びを効果的に高めることができるように工夫されている。 ●二次元コードからリンクする特設コンテンツとして「コンピューターを学習に生かそう」が設けられている。さまざまな場面での活用を促すとともに、情報モラルを含めた留意点についても楽しく学ぶことができるよう工夫されている。(上下目次)
24	健康・感染症対策	<ul style="list-style-type: none"> ●安全面、衛生面での配慮が必要な活動には、もれなく「てあらい」や「どうぐ」などのマークが付されている。 ●雨や雪、雷、夏の熱中症など、異常気象を含めた天候変化に対する適切な行動のヒントが、挿絵や吹き出し、保護者向けの文言などで示されている。(上39、下31等) ●教科書冒頭に、感染症の予防について注意喚起を行う「うつらない うつさないために」を設けている。二次元コードから、基本的な感染症予防についてまとめたサイトを閲覧することができる。(目次)
25	防災・安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ●自然災害、交通災害、人的災害の三つの観点から、安全に関する学習活動や資料が豊富に掲載されている。 ●安全に学習や生活をするために必要な習慣や技能が、紙面右上の「やくそく」に掲載されている。

26	食育	●野菜を栽培したり、地域の農家に探検に行ったりするなど、食や地産地消に関わる学習活動が随所に掲載されている。(下10-11、26-27等)
27	選択・程度・分量	●児童一人一人の多様な思いや願いに応えられるよう、さまざまな学習材が豊富に掲載されている。(上28-29、下22-23等) ●各学校における「カリキュラム・マネジメント」に資するよう、年間35週を一般的な月別週数で均等に割り振り、年間指導計画が設定されている。(全体) ●多様な家庭環境に配慮して、活動内容が選択されている。(全体)
28	組織・配列	●各学校における「カリキュラム・マネジメント」に資するよう、学習指導要領の内容を適切に組み合わせ、単元が設定され、柔軟に単元を組み替えることができるように配慮されている。(全体) ●低学年児童の2年間の発達や成長に合わせるため、季節の流れに寄り添いながら、上巻は1年生、下巻は2年生に適した学習内容から組織され、18の単元が、適切な順序で配列されている。(全体)
29	用紙・印刷・造本	●資料性、閲覧性、視覚的効果が高く、ランドセルや机への収納にも配慮されたA4の紙面が用いられている。 ●自社開発した軽量の専用用紙が用いられ、低学年児童の持ち運びに配慮されている。 ●開きやすく堅牢なあじろ綴じて製本されており、2年間の使用を想定して低学年児童の使用に配慮されている。 ●強度と軽さ、写真や挿絵の表現力を兼ね備えた再生紙が使用されている。 ●印刷には、環境と健康面に配慮された植物油インキが使用されている。 ●リサイクル時に除去しやすいのりを使って製本されており、環境に配慮されている。 ●印刷業界団体が定めた環境配慮基準を満たす「グリーンプリンティング認定工場」で印刷されている。
30	表記・表現	●活字は、字形の正しさにも配慮された教育用ユニバーサルデザインフォントが使用されており、上巻冒頭では本文の大きさを変えるなど、低学年児童の発達に合わせた文字が使用されている。 ●文節改行、分かち書き、総ルビなどが施され、すべての児童が学びやすいよう工夫されている。

2 対照表

上巻 (合計102時間)

配当学期	時数	単元名	関連する主な内容	関連する内容の取扱い	該当ページ	
1学期	前期	8	どきどき わくわく 1ねんせい	(1)	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	1～13
		12	がっこう だいすき	(1)	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	14～25
		8	はなを さかせよう	(7)	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	26～37
		8	なつが やってきた	(4) (5) (6)	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	38～51
2学期	後期	6	いきものと なかよし	(7)	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	52～61
		21	たのしい あき いっぱい	(5) (6)	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	62～77
		12	じぶんで できるよ	(2)	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	78～85
3学期		9	ふゆを たのしもう	(4) (5) (6)	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	86～101
		18	もう すぐ 2ねんせい	(8) (9)	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	102～112

下巻 (合計105時間)

配当学期	時数	単元名	関連する主な内容	関連する内容の取扱い	該当ページ	
1学期	前期	6	春だ 今日から 2年生	(3)(5)	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	1～7
		10	ぐんぐん そだてわたしの 野さい	(7)	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	8～19
		10	どきどき わくわく まちたんけん	(3)	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	20～29
		10	生きもの なかよし 大作せん	(7)	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	30～43
2学期	後期	12	うごく うごく わたしのおもちゃ	(6)	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	44～57
		6	みんなで つかう まちの しせつ	(4)	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	58～67
		12	もっと なかよし まちたんけん	(3)	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	68～79
3学期		12	つながる 広がる わたしの 生活	(3) (4) (8)	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	80～91
		27	あしたへ ジャンプ	(9)	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	92～102